

大洗の魅力を発見

浜っ子体験事業を開催



町内の小学5・6年生35名が参加した「浜っ子体験事業」が、去る8月9・10日の両日、県立こども城や大洗海岸、サンビーチ周辺を会場に行われました。

この事業は、次代を担うことも達し、郷土の自然や伝統に直接ふれさせ、遊びを通して大洗の魅力の発見と郷土を愛する心を育てることを目的に町教育委員会が主催したものです。

開講式の後、大洗海岸の磯場に会場を移動。この日は、台風の影響で波が高く心配されましたが、竹竿を使った伝統的な「チヨン釣り」と網を使って小魚を捕る「ばつこどり」にそれぞれ挑戦、アイ

ナメやキヌカジカなどを次々に釣りあげたり、磯の間で小魚を網ですくい、大きな歓声を上げていました。捕れた魚や磯遊びで採取した海藻を講師の大洗水族館学芸員の島田正幸先生の指導で、検索を行い大洗の海の生き物について学習しました。

続いて、大洗の伝統的な半切魚。採藻組合の小沼次平組合長から半切を使って魚の仕方等の説明を受け、4人1組で全員が半切に乗って楽しみ、代表2名が竹竿を使って操船、思うように進まない半切に悪戦苦闘していました。

2日目は朝5時に起床、自転車でサンビーチへ移動。みんなで力

を合わせて長さ1kmの地曳網を引き、ワカナ、いわし、ウシカなどが入り大漁でした。捕れた魚は料理教室で三枚おろしや開きなどの実習に使い、こども達は、慣れない手付きながらも始めての魚料理に熱中していました。

2日間を通して、特別講師の中川祐二先生(アウトドアジャーナリスト)から、自然の持つ素晴らしさや大切さについて体験談をまじえた話を聞き、こども達は先生の話に熱心に耳を傾けながら自然を守るために自分は何をすれば良いのか学んだようでした。

また、高校生のメンバーを中心に行ったキャンプファイヤーで



▲浜っ子体験参加記念のメダルをもらってピース



▲中川先生から自然についての話を聞くこども達



▲チヨン釣りをすることも達



▲慣れない手付きで魚をさばく

は、楽しいゲームやレクリエーションで盛り上がり、全員の友情を深めにぎやかで印象に残る夜を過ごしていました。

最後に全員で書いた感想文には、魚の名前や、さばき方などいろいろなのが覚えられてよかった。(大貫小・黒羽千佳さん)、ひさしぶりに海にはいったし、あんなところであんなに魚がとれるなんてしらなかつた。またぜひ来たいです。(大貫小・関根裕太君)、今までに体験出来なかつたことや、知らなかつたことをいろいろ教わりとてもよかつた。(磯浜小・佐藤仁美さん)、浜っ子体験で、ふつうは体験できないキャンプファイヤーや地曳網ができてよかつた。これで夏の思い出が一つ増えました。(磯浜小・石田直也君)等と書かれておりました。

こども達にとつて、この2日間は大洗についていろいろ新しい発見をすることが出来た貴重な体験となった事でしょう。

歳時記 海鳴り

海鳴り……都会人や山国育ちの人にとっては、何となくロマンチックな響きのする言葉かもしれません。ところが、海沿いに住む人にとっては、海鳴りは台風の前ぶれとして恐れられています。

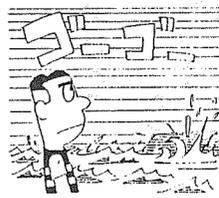
暴風や強い低気圧が海上にあるとき、海岸で聞こえる遠雷のような音が海鳴りです。これは、波が海岸に打ち寄せられたとき、その中に巻き込まれた空気が、すき間を求めて強く吹き出るとききの音といわれています。

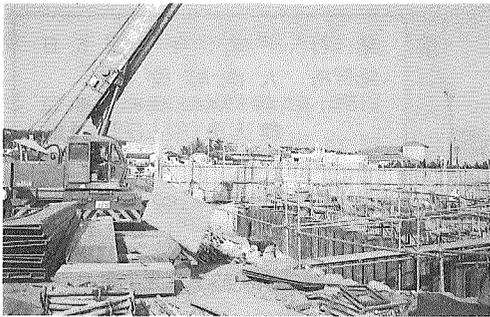
このとき、いろいろな波長の音ができますが、波長の長いゴーゴーという音はかなり遠方まで届き、海岸から数キロ離れたところまで聞こえることもあるそうです。この音が、太平洋の海岸では遠雷のように聞こえ、湾内では一発ずつの大砲の音のように聞こえるともいわれています。

北原白秋の『砂山』の中に、暮れりや砂山 汐鳴りばかり……また風荒れるとある詞も、同じようなことではないかと考えられています。最近はこの歌の汐鳴りを、海鳴りと歌うこともあるようです。

海鳴りに対して、山鳴りという言葉があります。鉾山用語で、坑道やトンネルを深い所まで掘り進んだとき、岩盤内に発生する地殻運動による音のことで、ガス突出などの危険予知に役立ちます。

九月十六～二十日は、「全国海難防止強調運動」です。海難は、見張り不十分などの人的要因が七〇%を占めるといわれます。海難防止の知識や技術の向上に、もっと関心を持ちましょう。





茨城県では、「ふるさとの 未来を築く」下水道という推進標語を掲げ、下水道に対する県民

の理解と関心を高め、下水道の普及と活用を促進する目的で、9月6日から9月12日までを「茨城県下水道促進週間」としています。この運動は、新聞・ラジオなどによるPR活動、下水処理場一般開放やポスター・作文・標語の作品募集によるコンクールなど様々な広報活動を行うものです。当町でも、週報でお知らせしたとおり、このコンクールへの作品を募集しております。私たちの生活にはなくてはならない下水道を、町民の皆様が早く使用していただけるよう整備を進めてまいりますので、ご協力お願いいたします。

県下水道促進週間

9月6日～9月12日

大洗町選挙管理委員会 (☎67-5111 内線233)

届けたい、わたしの気持ち この一票 9月26日は茨城県知事選挙の投票日です

投票のできる方は 年齢満20歳以上(昭和48年9月27日以前出生)の方で、大洗町の住民基本台帳に引き続き3カ月以上(平成5年6月8日以前から居住)登録されている方です。
入場券は 投票所入場券は郵送します。入場券の届かない方は、選挙管理委員会へお問い合わせ下さい。
投票所へ行くときは、入場券と投票所の確認をお忘れなく。
投票時間 午前7時から午後6時まで。
不在者投票のご利用を 投票日に仕事などで遠くへ出張中とか以前から申し込んである観光旅行に行くとか、やむを得ない理由があつてどうしても投票できない人は、不在者投票という方法によって投票することができます。不在者投票の期間は、9月9日から9月25日までになっています。この期間中の毎日午前8時30分から午後5時までの間の役場住民ホール(1階)で投票できますので、必ず本人が入場券と印鑑を持っておいで下さい。
問合せ先 大洗町選挙管理委員会 (☎67-5111 内線233)

津波は忘れたころにやってくる

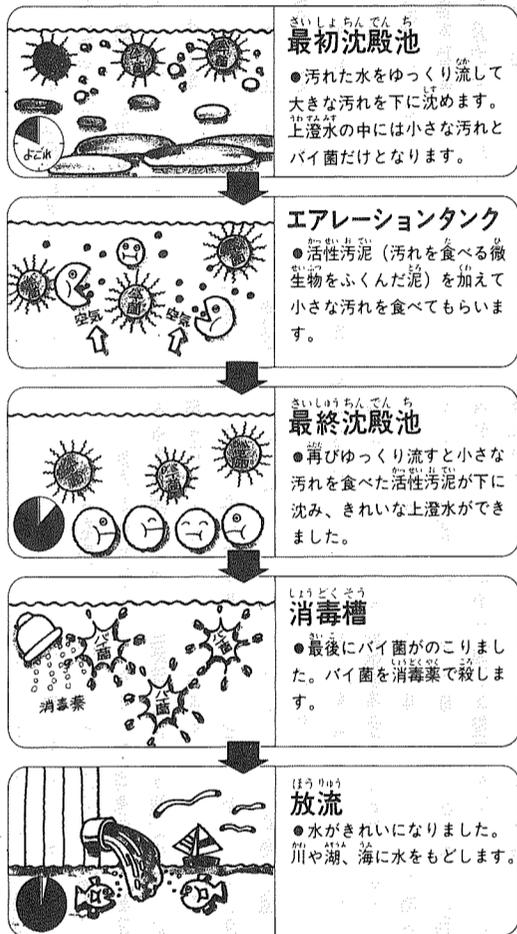
津波—地震などと違い、実感しにくい自然災害です。というのも、津波による大きな災害の再来間隔が、津波によるほかの天災に比べて非常に長いからです。

被害の大きい津波災害は、20～30年に1回あるかないか—平成5年7月12日深夜に、北海道南西沖地震で起きた津波災害がもっとも新しく、その一つ前は昭和58年の日本海中部地震津波といった具合です。まさに「天災は忘れたころにやってくる」という格言どおりです。

津波の恐ろしさを知るとともに、津波が起きたときの対処の仕方などを覚えておきましょう。



下水がきれいになるまで



何が原因で津波は起こるのか 津波は地震の二次災害「90%以上は地震が原因」

津波について知っておきましょう。津波の原因には、地震や海底火山の爆発、大規模な山崩れなどがあります。90%以上が地震によつて起こります。津波は地震の二次災害と考えていいでしょう。したがって、ほとんどの津波は、地震のあとに襲つてきます。「地震イコール津波、即避難」という考え方を徹底させておきましょう。ただ、チリ地震津波のときは、地震を感じないのでは、と

津波警報や注意報が発令されたら 津波を感じたら、どうすればいいのでしょうか。ただちに海辺から離れ、高台などの安全なところに避難するとともに、ラジオなどの確実な情報に耳を傾けるようにしてください。津波の心配がない場合、「津波なし」の予報が発令されますので、決してデマに惑わされないようにしましょう。
津波警報や注意報が 発令されたらどうすればいいのでしょうか。海辺にいる人はただちに高台などの安全な場所に避難し、確実な情報をラジオなどでつかむようにしてください。津波の心配がなくなつたら、「津波注意解除」もしくは「津波警報解除」が発令されます。これらが発令されるまでは気を抜いてはいけません。
特に、すでに波が一回きたからといって「もう大丈夫」と、すぐに海に近づくのは非常に危険です。津波は、時間をおいて第二波、第三波と押し寄せることがほとんどで、あとからくる波のほうが最初の波より大きいことが多いからです。
また、海岸の地形によつて、津波の高さが変わることも知ってお

北海道南西沖地震被災 町職員義捐金を贈る 7月12日深夜に、震度5の強震により起きた津波で北海道奥尻町は大きな被害を受けました。竹内町長の呼びかけで、被災者の救援の義捐金を募り、去る7月23日義捐金十三万円を郵便局を通して奥尻町漁業協同組合に送金いたしました。漁業の町として、奥尻町が一日も早く復興されますようお祈りします。

津波による災害を防ぐには 海水浴やボード・セーリング、釣りなどで海に行くときには、その場所がどういふ地形をしているのか、万が一の場合どこに避難したらいいのかを、あらかじめ確認してから出かけるようにしたいものです。また、確実な情報をつかむためにも、ラジオを持っていくことをお勧めします。そして一番大事なことは、海を決して甘くみないこと、これに尽きます。

うしようもないではないか」と思われるのも当然のことです。そこで提案したいのがラジオを聞くことです。最近では、海水浴などにラジオカセットを持っていき、浜辺で音楽を楽しむ人が増えていきました。なるべくラジオを聞くようにし、地震を感じたときもそうでないときも、津波の情報、いわゆる津波警報や注意報に敏感になるよう心がけましょう。
これらの予報は、地震発生後、約二十分以内に気象庁などから発表されることになっています。

税金 国民年金の相談と 集徴徴収実施について 大洗町役場(一階会議室) 水戸南社会保険事務所(担当専門官)
国民年金加入者の皆さんに、国民年金制度について正しいご理解をいただくため、相談会を次のとおり実施いたしますので、お気軽にお出かけください。
また当日は、保険料未納分(過年度分も含む)についても取扱っておりますので、お知らせいたします。
9月28日(火) 午前10時～午後3時
保険料は毎月納期限を守って納めましょう
税金 国民年金の相談と 集徴徴収実施について
国民年金の相談と 集徴徴収実施について
国民年金の相談と 集徴徴収実施について
国民年金の相談と 集徴徴収実施について

お年寄りや障害者と税 納税者やその配偶者の父母や祖父母(老親等)同居しているときの扶養控除は、更に10万円を加算した55万円が差引かれます。
お年寄り本人が 受けられる特典
①老親者控除 年齢が65歳以上の方で、所得金額が1000万円以下の場合、所得税を計算する際に所得控除として、50万円を所得金額から差し引くことができます。
②公的年金等控除 国民年金、厚生年金などの公的年金や恩給は雑所得として課税対象となります。その雑所得の金額は、公的年金の収入金額から公的年金等控除額を差し引いて計算します。
なお、年齢が65歳以上の方は65歳未満の方より、その控除額が多くなっています。
お年寄りを扶養している 方が受けられる特典
配偶者控除や扶養控除の対象となる親族が、70歳以上のお年寄りであるときは、配偶者控除や扶養控除として一人当たり35万円に代えて45万円を所得金額から差し引くことができます。

国民年金の相談と 集徴徴収実施について
大洗町役場(一階会議室)
水戸南社会保険事務所(担当専門官)
国民年金加入者の皆さんに、国民年金制度について正しいご理解をいただくため、相談会を次のとおり実施いたしますので、お気軽にお出かけください。
また当日は、保険料未納分(過年度分も含む)についても取扱っておりますので、お知らせいたします。
9月28日(火) 午前10時～午後3時
保険料は毎月納期限を守って納めましょう



海水浴場の監視体制に 新 戦 力

日本ライフセービング協会



今年度の海水浴(7/17~8/22)は、今までの監視体制に加え、東京の「日本ライフセービング協会」に所属しているライフセーバーの方々の協力を得て、海水浴場の安全体制をより一層強化いたしました。

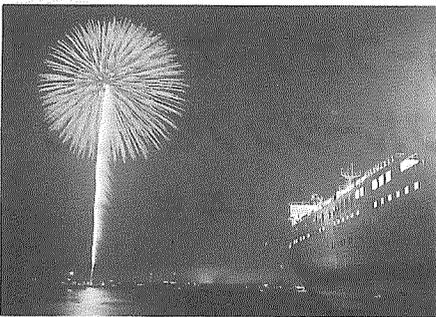
このライフセービング協会とは、海岸パトロール、浜辺の美化運動、海岸での安全指導のキャンペーン等、日本でのライフセービング活動

海上花火大会を楽しむ

大洗の夏まつりの一つ、海上花火大会が、去る8月1日大洗サンビーチ海岸で行われました。

前日の降雨により、順延されましたが大勢の観光客や町民の皆さんが浜辺や港から、夏の夜空に咲く花火を楽しんでいました。

この海上花火大会は、大洗の夏まつり実行委員会が主催、あいにくの曇り空の肌寒い日でしたが花火とあってたくさんのお客様が押しかけ、午後7時30分4号玉20発の「飛躍大洗町―21世紀へ光のメッセージ」が打ち上げられ、音と光の共演が開始されました。



展示会場には、大勢の皆さんが訪れ、朝の光を浴びながら飛び交う優美な白鷺、勇壮で迫力のあるダイサギの飛翔等々の力作の写真を

動の普及、指導を行っている協会です。

お蔭で、今年度の海水浴場内での水難事故は、一件もありませんでした。

ライフセーバーの方からひと一言、安全が第一です (井上)

自分達の活動を理解してほしい大洗の海で活動できて良かった (池田)

安全で快適なビーチを目指してほしい (峰村)

私達の活動を理解して頂きたい大洗を日本のモデルビーチにしよう (相澤)

水辺の事故をなくし、そしてゴミのないきれいな海に皆でしよう (木場)

大洗の海は、きれいですばらしいビーチです。この美しい海をいつまでも続くよう皆で協力しよう (金子)

絹針弘己さん 愛しき白鷺の写真展を開く

絹針弘己さん(磯浜町3474-1)が「愛しき白鷺」と題して、水戸西武デパートの特設会場で、去る8月12日より6日間、写真展を開催いたしました。



絹針弘己さん、これからも浜辺や田畑に生息する生き物達を撮りたいと抱負を語っていました。



東茨城郡体育大会 本町選手活躍される



大洗写真研究会



大洗写真研究会の写真展が去る7月中旬から9月1日まで、関東銀行大洗支店ロビーで開催されました。

この写真展は、公民館講座「写真講座」で絹針先生のご指導を受け勉強終了した受講生等が開催したもので今回が第1回目です。

ロビーには、絹針先生の白鷺をはじめ会員の力作が展示され、来行された皆さんの目を惹きつけていました。また、広報紙「おあらい」フォト欄で会員の皆さんの作品を紹介していますが如何でしょうか。

会員一同が、11月の芸術文化祭に向け、一生懸命に頑張っています。

短歌についても掲載頂きたいとの申し出がありましたので「おあらい」短歌を設けることになりました。

俳壇と短歌を隔月に掲載させていただきます。奮ってご投稿ください。

ハガキ一枚に短歌1首以内、住所・氏名を記入の上役場町長公室宛。締め切り毎月5日です。

投稿は、町民並びに町内に勤務される方に限ります。

選者は、勝山一美氏、昭和四年生れ。歌人斎藤藤吉の門下である山口茂吉、広野三郎に師事。短歌結社「アザミ」「久木」を経て現在「あかつき」に所属。「茨城歌人」(創始者・昭和30年創刊、会員数五百余)の編集、会計の任にある。

歌は心の琴に触れて生れるもの。心動かされる一切を、平明に、直截に、そして生きた自分の言葉で詠み続けてゆきたい。

この度、短歌欄を担当することになりました。積極的な参加を期待しております。

(勝山)

短歌の投稿について

大洗芸文協の後藤亀泉先生にお願いして「おあらい俳壇」を掲載させて頂き、ご愛読いただきありがとうございます。この度、大洗芸文協から

写真展を開催

可憐な野あざみを可憐に表現したいと思いました。

大野 久夫

100ミリマクロレンズ
ソフト使用 F3.5オート

【評】
ソフト効果が画面をエキゾチックに演出しました。(絹針 弘己)

フォト



遊ぶと川底を泳ぐ魚と遊ぶ子供達……。自然の美しさ、尊厳をしみじみ感じた一日でした。

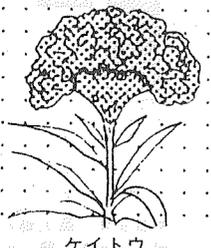
中村 和安

80-200 F2.8 5.6 1/125

【評】
子供の位置が的確なのと動きに合わせたシャッターチャンスが見事である。(絹針 弘己)

おあらい 俳壇

後藤亀泉選



幼な子のビーチサンダル新しき
東光台 大川 たか

【評】 やつと梅雨も明け、海水浴客がどっと練り込んだ大洗サンビーチ。おそろく若い両親は履き古したゴム草履であつたろうが、連れの幼な子は買ったばかりのビカピカのビーチサンダルをはき、嬉々として白砂を踏みしめているのだ。この子にとり初めての潮浴びなのであろう。浜辺で見掛けた親心が、重く心に響いたのである。

浜風の真唯中にて暑し
夏海 大貫千代子

【評】 今年、こんな日が幾日あつたであろう。サンビーチの人出の中に紛れて、潮浴びの大混雑を眺めているのだが、浜風の生まれる渚近くにも何んとも暑いのである。常識的には下五は涼しと付けた処なのだが、暑しと言つて俳句になつた。

砕け寄る波と揉み合ふ泳ぎの子
髭釜 川上 弘

【評】 波打ちわから沖に向かつて泳ぎ出ようとしているのだが、土用波が次々と寄せて砕けて行手をばはむ。泳げる海面迄は先ず白波と揉み合わなければならぬのである。

それぞれの波のうねりに乗る浮輪
新町 岸和田和子

【評】 波の砕ける浅場をのり切つてやつと沖に出、浮輪に縋つて波のうねりを楽しんでる人々。それぞれの波と言つて、人それぞれ、浮輪それぞれの形態や色彩を簡略に表現している。読む方も浮輪に乗つて、真夏の海に漂つ心地がする。

片蔭に授乳の膚眩しかり
髭釜 川崎 京子

【評】 何の樹か、サンビーチ駐車場を囲んで木立が植栽され、浜辺まで涼し気な片蔭を作つて

乳を授け抱いた若い母親が、日盛りの直射日光を避けて木蔭に身を寄せ、白い乳房を惜しげもなく曝して乳を与えているのだ。同性の作者でさえ目の眩む膚の輝き。

梅漬ける古き日誌を繕きて
祝町 今川 晟

【評】 梅干を作る。先ず青梅を塩漬にするのが手順の始まりだが、暫く作つて居ないので、塩加減などの記憶を呼び戻す為、古い日誌を取出して以前の記録を確認しているのである。丹念な作者。

乙女も耀びてをり星今宵
磯浜 谷 ひろし

【評】 七夕。星祭の宵である。涼みがた街の七夕竹を見物している。ようやく天候も定まつて、星座の輝きが秋の夜空に美しく、舗道に連れ立つ乙女達は天上の織女星のように耀いて見えるのである。灰田勝彦の「きらめく星座」の世界。

涼しげな星の形のイヤリング
大貫 大場 湖舟

愉しげに残りてビーチパラソルに
明神町 小松崎十吉

砂浜をビーチパラソルうめてをり
桜道 真田 静子

道路より遠くなりけり夏渚
明神町 田中 勝枝

盛夏なる色空にあり海にあり
髭釜 稲田 富徳

団扇背に差して浜辺を歩きをり
角一 前原 青嵐

風のなき裏参道の竹落葉
蔵前 田山 佳風

貝拾ふ人影もなく夏寒し
祝町 今川 うめ

梅雨晴のベンチに人を待つ少女
永町 桜井 政吉

もろこしを如てて見舞に來て呉れし
磯浜 浅見 道子

カーフェリーでクルージングを楽しむ

— 中学1年生 —



大洗港振興協会主催による、フェリー体験クルージングが去る8月2日に行われました。

今年、東日本フェリー(株)の「びくとり」に、町内の中学1年生258名と一般公募者、振興協会職員、初めて高齢者クラブから募集した89名を含む約600名の方が乗船してクルージングを楽しみました。

乗船の前に、大洗港埠頭で午前9時からセレモニーが行われ港振興協会会長の竹内宏明氏の挨拶。続いて、乗船者を代表して吉川久美さん(二中)小園江貴子さん(南

親子の楽しい料理教室を開催

親子の料理教室が、去る8月12日(木)午前9時30分から町中央公民館・調理実習室に親子37名が参加。親子の楽しい料理教室が開催されました。



これは、こども達に正しい食生活の習慣をと町が主催。食生活改善推進員の皆さんの協力を受けて行ったものです。

ビーチバレーin大洗を開催

第5回ビーチバレーin大洗大会が、去る7月24・25日にサンビーチ海岸で行われました。

これは、'93大洗夏まつりイベントの一環として、県バレーボール協会と大洗町が主催。

- 金子・大西組
- 窪木・須藤組
- 齋藤・望月組
- 藤原・亀岡組
- 岡野・藤田組
- 石川・丸茂組
- 大山・佐々木組
- 久賀谷・久賀谷組
- 〇女子の部
- 根本・橋本組
- 松浦・九鬼組

大会初日は、曇り空でありましたが大勢の観光客の前で熱戦が繰り広げられ、好プレーや珍プレーが続出して、会場は大変盛り上がりしていました。

2日目は、降りしきる雨の中の試合となりましたが、出場した選手の方々は、バレーボールと雨との戦い。試合の経過と共に特設コート内に雨水が溜り、プレーが進行できなくなり男女共ベスト8を決定して大会を終了しました。

祝町小学校の児童 濁沼川上流を見学



大洗水族館周辺の河川を清掃に取組んでいる祝町小学校(海老沢徹校長)の児童と先生(37名)が、去る8月4日飯田ダムと濁沼川上流の野外観察会を行いました。

と大洗地区濁沼浄化対策協議会(菅原弥会長)が主催して行ったものです。

子ども会活動

野外宿泊学習と球技大会

今年もこども達にとっては楽しい夏がやってきました。

- 小野寺・吉田組
- 浅野・河野組
- 染谷・谷出組
- 久保田・大須賀組
- 藤本・桜井組
- 池上・早野組

これは、こども達が自然環境の中で共同生活することにより、豊かな人間性と親睦を深めようとい行われたもので、町内こども会のリーダー94名を中心に、高校生会13名、育成者27名の総勢134名が参加したものです。

初日は、自分たちの手で作ったカレーライスを食べた後、キャンプファイヤーで親睦を深めながら楽しんでいました。

翌日はキャンプ場の周辺の約3キロの山路をハイキング。全員が元気に帰りました。

- 優秀賞 北水清・つばめ
- 努力賞 新町
- 〔Cブロック〕
- 最優秀賞 青い鳥・船渡・新町
- 努力賞 新町
- 〔Dブロック〕
- 最優秀賞 一丁目・二丁目・仲
- 優秀賞 祝町
- 努力賞 境坪・仲坪
- 〔Aブロック〕
- 最優秀賞 明神町
- 努力賞 髭釜
- 〔Bブロック〕
- 最優秀賞 永町
- 努力賞 蔵前・上中宿
- 〔Cブロック〕
- 最優秀賞 夏海
- 努力賞 東光台
- 〔Dブロック〕
- 最優秀賞 青い鳥・船渡・新町
- 努力賞 さくら

社会福祉協議会へ 善意の寄付

- 一、金200,000円 (社)倫理研究所大洗支所殿
- 一、金200,000円 大洗町磯浜町142番地 照沼清一殿
- 一、金50,000円 大洗町磯浜町4164番地 山崎かつ・義行殿
- 一、金100,000円 大洗町磯浜町2513番地 山崎 正殿
- 一、金41,250円 大洗菓子工業組合殿
- 一、金41,250円 スーパー大洗和銅店殿
- 一、金200,000円 大洗クッキングセンター
- 代表 照沼義友殿
- 一、金250,000円 大洗町磯浜町4164番地 山崎かつ・義行殿
- 一、金28,000円 水戸ヤクルト販売(株)殿

データにみる 日本人の暮らし

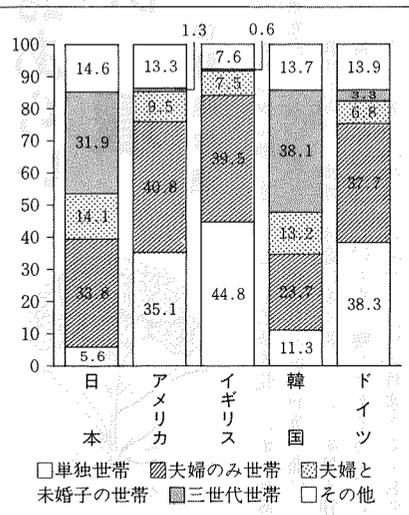
六十歳以上のお年寄りのいる世帯は、千七十三万世帯(平成二年度)。全世帯の二六・四%。四世帯に一世帯という割合になります。

高齢社会と家族

老いた親と子の同居率は低下

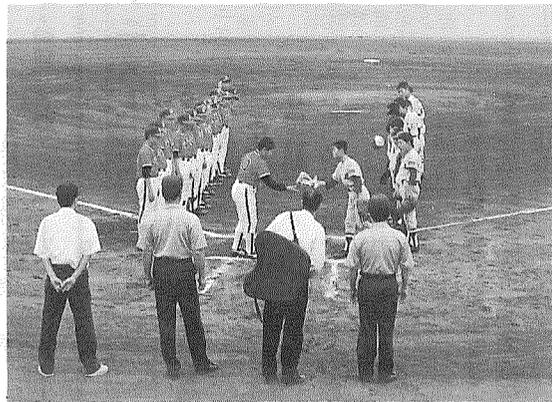
地域では、慣習や風俗的な影響などが根強く残り、同居率が高くなっているのです。

60歳以上のお年寄りがいる世帯の種類(国別)



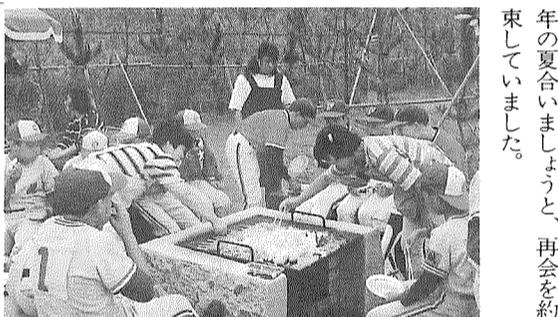
友好親善野球で 苫小牧スポーツ少年団と交流

＝大洗スポーツ少年団＝



北海道苫小牧港と大洗港間とのフェリー就航をきっかけに始まった、大洗・苫小牧スポーツ少年団相互交流会が、去る7月27日から29日までの3日間、大洗町で行われました。

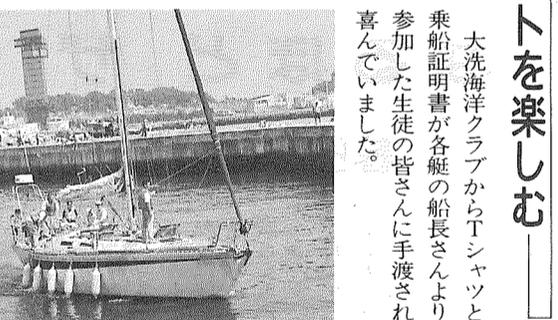
今年で9回目を迎え、苫小牧から花園ファイターズスポーツ少年団(戸部英一団長)一行50名が27日午後2時30分に文化センターへ到着、大洗スポーツ少年団団員及び関係者による歓迎式が行われました。



年の夏合いましたと、再会を約束していました。

翌28日に、町総合運動公園グラウンドで開会式が行われ、竹内町長が「スポーツを通して、たくましい心と身体づくりを図り、交流会で友情を深めていただきたい」と歓迎の挨拶、大貫清君(大洗)・佐々木隆幸君(苫小牧)両主将から力強い選抜のプレーをしますと力強い選手宣誓があり、石川教育長の始球式で交流試合が開始されました。

第1試合は、レギュラー同士の対戦、随所に白熱した好プレーが続出して、勝敗は4対2で大洗が勝利しました。



大洗海洋クラブからTシャツと乗船証明書が各艇の船長さんより参加した生徒の皆さんに手渡され喜んでいました。

3日目は、サンビーチ海岸でスイカ割り等で交流を深めた後、動燃・大洗工学センター、水族館、マリントワーを見学。

お別れ会では、団員同士また来年の夏合いましたと、再会を約束していました。

空手道競技大会で
仁武館が活躍

県スポーツ少年団空手道競技大会が去る8月1日、水戸市東町運動公園体育館で18団体、47名の選手が参加して競技が行われました。

当町からは、剛柔流空手道仁武館(齋藤仁館長)の選手が出場。小学1年生から中学3年生までの学年別、男女別の各部門に出場して好成績をあげました。

今年、初出場した選手も大会の雰囲気にもまれることなく伸び伸びと演武をし、先輩の選手と共に道場での稽古以上に気力、精神力を発揮し実力を充分にだした大会だったと齋藤仁館長が話していました。

入賞者は次のとおりです。

- 小学女子の部(1年) 準優勝 関根司甫美(磯浜小)
- 小学男子の部(1年) 第5位 小沼大恭(稲荷小)
- 小学女子の部(2年) 第3位 座古有香理(大貫小)
- 小学男子の部(2年) 第5位 米川笑子(大貫小)
- 小学女子の部(3年) 準優勝 関根理恵(大貫小)
- 小学男子の部(3年) 第5位 松山直子(磯浜小)
- 小学男子の部(3年) 優勝 掛札正真(大貫小)

泳げるようになったぞ！ 水泳教室を開催

水泳教室を開催



水泳教室が、去る8月8日から12日まで町営プールで開催されました。

これは、町内の泳げない子ども達を対象に町教育委員会が主催した。

今回の水泳教室は、初めての試みでしたが大勢の子ども達も申し込みがありました。異常気象でありにくの天候となり、子ども達にとって寒さとの戦いとなってしまいました。

それでも5日間を通して参加された子ども達も多く、熱心に指導を受け、「泳げるようになったぞ」と喜んでいる子ども達もいました。

来年は、海の町大洗の子ども達も全員泳げるようになるよう、充実した水泳教室を開くように取り組むそうです。

泳げない子ども達、チャレンジしてみませんか。

ビーチ・クリン・キャンペーン
史上最大の宝探し

ビーチ・クリン・キャンペーン史上最大の宝探しが行われ、去る8月22日サンビーチで行われました。

これは、茨城放送開局30周年を記念して、茨城の海岸を美しくとビーチ・クリン・キャンペーンを行ったものです。

海水浴場開設期間の最終日、大勢の観光客が参加。午後1時花火が打ち上げられオープニングセレモニーが行われ主催者の宇野茨城放送社長挨拶。続いて竹内大洗町長が挨拶、大洗ボーイスカウト団員が選手宣誓をして競技が開始されました。

宝探しは、受付で赤の袋(燃えるゴミ)と青の袋(燃えないゴミ)の2枚が手渡され、一杯にしてゴミ集積所に持ってきた時に、抽選



【写真提供】大和田康雄氏・加島清暉氏

券と記念品を渡すものです。

ゴミ集めが宝探しとは、ユニークな方法。遠藤アナウンサーが「大洗の海を舞台に熱くもえるぞ！史上最大の宝探しスタート」と合図、参加者の皆さんは、約1時間海岸のゴミを一生懸命に拾っていました。

集められたゴミは集積所で抽選券に引替えられ、シンガポール旅行ペアチケット、自転車等の当たる抽選会を楽しんでいました。

皆さんのお陰でこの大洗サンビーチはきれいな砂浜に生まれ変わりました。でも、こんな形でビーチ・クリンするよりも、本当に大切なことは一人一人がゴミを出さないようにすることではないでしょうか。と呼びかけていました。

▲収集したゴミの山



空手道競技大会で仁武館が活躍

9月9日は「救急の日」
救急の日です

「救急の日」及び「救急医療週間」は国民に救急業務に対する正しい理解と認識を深めていただき、併せて救急車の正しい利用方法と救急処置法を普及させるためのものです。

近年の救急業務は、急病を中心に増加しており、中でも心臓疾患患者等、分秒を競って救急処置を施さなければ救命効果がみられない場合も多くなっております。

また、震災等大規模事故発生時において、救急隊が現場に到着する以前における、現場に居合わせた人々による応急手当の実施の必要性も大切であり、普段から身につけておくことが大切です。

消防本部では、町民のみならず救急処置法を知っていただくために、各種団体、事業所、町内会等を対象に実技指導を行っていますので、ご希望の方は、消防本部までご連絡下さい。

屋外広告物は許可をうけて！
美しいまちづくりのために

街の美観を守るため、屋外広告物を掲出するときは、県条例により、町長の許可が必要です。禁止された地域や物件への違法な掲出はやめましょう。

道路標識 歩道柵 街路樹
歩道橋 電柱

屋外広告物については、都市計画課へご相談ください。
☎ 67-51111 内線2661

敬老会は9月14日(火)

大洗文化センターで行います

敬老会バス送迎について

敬老会の当日は、次のとおり送迎バスを運行いたしますので、ご利用下さい。

なお、敬老の日(9月15日)は各ご家庭で、老人を慰労下さるようお願いいたします。

敬老会送迎バス時刻表

一号車 岡野商店先T字路(8:30)→成田→松川集会所→神山(8:45)→会場

二号車 矢場(8:30)→農業会館→大貫橋→船渡(8:45)→会場

三号車 前原住宅(8:30)→諏訪神社→中宿バス停→田山石油店前(8:40)→関東銀行前→会場

四号車 三号車に同じ

五号車 三号車に同じ

六号車 平戸橋バス停(8:30)→茨交デリー前→会場

七号車 惣五郎商店前(8:30)→角沼前→会場

八号車 祝町小学校前(8:30)→福社バス→松ヶ丘住宅→明治記念館→会場

原子力施設見学会に参加してみませんか

10月26日は、原子力の日です。町では、町民の皆さんに原子力について正しい認識を持っていただくため、今年も原子力施設見学会を計画いたしました。

原子力施設見学会と常陸那珂港の施設を見学してみませんか。

○期日 10月21日(木)

○見学先 日本原子力研究所・大洗研究所 動力炉・核燃料開発事業団 大洗工学センター 茨城原子力センター 常陸那珂港

○コース 大洗町役場町長公室 大洗町役場(9:30)→原研大洗→動燃 67-5111 内線211

第10回 町民テニス大会のお知らせ

○主催 町体育協会

○主 管 町体育協会テニス部

○後 援 町教育委員会

○期 日 10月10日(日)

○集合時間 午前8時30分

○試合開始 午前9時

○雨天時 10月11日(月)

○雨天時問合わせ先 長谷川良雄 66-11227

○会場 町営テニスコート 66-11227

平成6年度町立幼稚園児を募集!

平成6年度大洗町立幼稚園の入園児を次のとおり募集いたします。

入園を希望する保護者の方は、当該幼稚園に入園願書を直接提出して下さい。(願書は、各幼稚園及び教育委員会に備えてあります。)

また、申込者が募集人員をこえた場合は、抽選によって決定いたします。

○募集人員及び対象者

夏海幼稚園 5歳児 40人

祝町幼稚園 4歳児 20人

(2年継続保育を原則)

磯浜幼稚園 5歳児 40人

4歳児 平成2年4月1日生

5歳児 昭和63年4月2日、平成元年4月1日生

○募集期間 10月1日(金)～10月8日(金)

町の人口と世帯

(8月1日現在)

人口 20,875人(+41)

男 10,357人(+22)

女 10,518人(+19)

世帯数 6,421戸(+21)

転入 60人 転出 30人

出生 26人 死亡 15人



親子ふれあいバドミントン教室開催のお知らせ

青少年育成事業として、親子がいつしよになって、スポーツを楽しみながら、家庭教育の大切さを知っていただきたい。

○期日 10月24日(日)

○時間 受付午前8時30分～9時

○場所 町立磯浜小学校体育館

○対象者 親子2人1組

○服装 スポーツウェア及び体育館用シューズ

○用具 バドミントンラケットは準備いたします。

○参加費 無料

○申込み先 大洗町磯浜町235 関根孝明 67-3113

国民年金9月分 国民健康保険税 第3期の納期は9月30日迄です。

左記により、子宮がん及び胃がん検診を実施しますので、春の検診を受診されなかった方は、是非受診されますようお願いいたします。

子宮がん及び胃がん検診のお知らせ

左記により、子宮がん及び胃がん検診を実施しますので、春の検診を受診されなかった方は、是非受診されますようお願いいたします。

○期日 10月4日(月)・10月5日(火)

○検診場所 大洗町保健センター

○受付時間 午後12時30分～午後1時30分

○対象者 30歳以上の女性(平成5年度中に30歳になる方も該当します)

○申込み先 大洗町保健センターへ申し込み下さい。

66-11010

大洗文化センター行事予定表(9/14~28)

開催日	開始時間	催事内容	開催場所	主催	入場方法
9月14日(火)	9:00~	敬老会	ホール	大洗町役場福祉課	関係者
9月15日(水)	9:00~	民謡認定試験	大会議室	日本民謡協会	関係者
9月19日(日)	10:00~	マンガ映画上映	ホール	日立セントラル(株)	有料
9月22日(水)	9:00~	運転免許更新時講習会	大会議室	水戸地区交通安全協会	関係者
9月28日(火)	9:30~	映画鑑賞会	ホール	県立大洗高等学校	関係者

※主な催しのみです。詳しくは大洗文化センター ☎66-2442へお問い合わせ下さい。

「愛の献血」にご協力を!

左記により「愛の献血」を実施いたしますので、町民の皆様のご協力をお願いいたします。

日時 9月27日(月)

午前部 午前9時30分～午後12時30分

午後部 午後1時30分～午後4時00分

場所 大洗町保健センター

種類 全血献血(200ml献血・400ml献血)

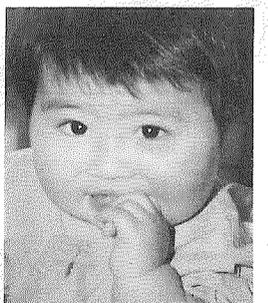
成分献血(血漿献血)

献血のできる人 年齢(16歳以上64歳まで)・体重(男性45kg以上女性40kg以上)・その他当日の血液の比重、血圧及び体調の良好な方

成分献血の申込み 成分献血は、一人40分程度の採血時間を利用するため、申込制となりますので、希望される方は、9月20日(月)までに、保健課係(電話67-5111)へ申し込み下さい。

主催 大洗ライオンズクラブ

保健センター だより



金沢町4区 石田翔吾ちゃん (11ヶ月)

月/日	事業名	対象	受付時間
9/22(金)	三歳児健診	3歳の誕生日に達した幼児	1時00分～2時00分
9/24(日)	離乳食教室	3カ月から12カ月の乳幼児及び母親	10時30分～11時30分
9/28(木)	三種混合	24カ月から48カ月までの幼児	1時15分～2時15分
9/30(土)	乳児健診	6カ月から7カ月の乳児	1時00分～2時00分
10/4(水)	母子相談	母性及び乳幼児の相談者	11時00分～11時30分
10/10(火)	子宮がん検診	30歳以上の女性	12時30分～1時30分
10/17(火)	子宮がん検診	30歳以上の女性	12時30分～1時30分
10/21(金)	経口生ポリオ投与	3カ月から48カ月までの乳幼児	1時15分～2時15分
10/21(金)	母子保健教室	妊娠6カ月から8カ月の初産の方	9時30分～10時30分
10/21(金)	母子保健教室	妊娠6カ月から8カ月の初産の方	10時30分～11時30分
10/21(金)	母子保健教室	妊娠6カ月から8カ月の初産の方	11時30分～12時30分
10/21(金)	母子保健教室	妊娠6カ月から8カ月の初産の方	12時30分～1時30分
10/21(金)	母子保健教室	妊娠6カ月から8カ月の初産の方	1時30分～2時30分
10/21(金)	母子保健教室	妊娠6カ月から8カ月の初産の方	2時30分～3時30分

「機能回復訓練」

野外リハビリ訓練

○9月24日(金) 整形外科医診察

野外リハビリ訓練

○9月29日(水) 岩瀬町方面への野外訓練

訓練場所 大洗町保健センター

訓練対象 障害をもった方で機能回復訓練を必要とする者

午後部訓練(午後1時～午後3時)

○9月7日(火) 専門療法士指導

※雨天の場合は中止となります。

健康 ザ なるほど

暮らしの中の食品衛生

①食中毒の知識

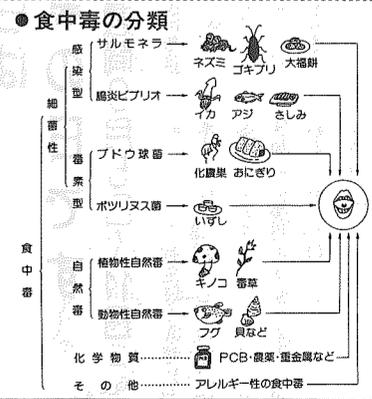
食中毒は、一年中発生しますが、そのほとんどが、暑い季節に多く、六月から十月までの間に、一年間に発生する食中毒の約八割が発生します。

食中毒の原因には細菌によって起こるものと自然毒により起こるものなどがあります。

日本人の食中毒で一番多いのが腸炎ビブリオ菌によるもので、魚介類に多く、約十時間後に腹痛、下痢、吐き気、発熱が起こります。このビブリオ菌は熱には弱いのですが、日本人は刺身を食べるので、腸炎ビブリオの食中毒は減らないのです。

次に多いのが、ブドウ球菌による食中毒です。この菌は体のどこにでも認められ、スキあらばと狙っています。

この菌の毒素は熱に強いのが特長で、厄介です。指にケガをしていたり、デキモノができていたりする時は手指の衛生には特に気をつけ、食品を清潔に作り扱うことが大切です。



なお、フグやキノコなどに含まれる毒に関しては、疑いのあるものは口にしないようにして下さい。

予防としては、清潔な習慣(爪切り、手洗い)を身につけることが一番です。ハエ、ゴキブリ、ねずみなどの駆除も食中毒予防には不可欠な条件です。

また、夏場には冷蔵庫を過信しないことも重要です。

(栄養士・野口洋子記)